

from ボランティアセンター

〈ボランティアセンター〉
月～金曜日 午前8時半～午後5時15分

☎ **042-475-0739**

お知らせ 歳末たすけあい募金 地域福祉活動補助金 実績報告会

令和5年度に本補助金を活用した4団体の活動を報告します。市民が協力して集めた歳末たすけあい募金の使用道であるボランティア活動の紹介とその活動を通じて見つけた地域課題を共有します。これから補助金を使ってみる団体もぜひお越しください。

- 日時：2月9日(金)午後2時～3時半
- 会場：中央町地区センター 第3・4会議室
- 定員：30人(直接会場へ)
- パネル展
- ①生涯学習センター1階ロビー
2月9日(金)～16日(金) ※12日(月)を除く
- ②わくわく健康プラザ2階ボランティア交流室
2月19日(月)～3月29日(金) ※土日祝日を除く

NPOこころあ



立ち上げた2年目の活動

防災まちづくりの会・東久留米



チャレンジ サバイバルチーム

東久留米CPR友の会



オートシヨック機能付き AEDトレーナーの購入

住みよいまち弥生



二ノスレーター、秋祭り、防災まち歩きなど

報告 災害ボランティア 市民スタッフの会の活動

12月9日(土)の「防災キャラバンin六仙公園」で、災害ボランティアセンターを紹介しました。ご家庭で用意している防災備蓄品のアンケートには、多くの人が参加してください、522の回答を得ました。

回答結果は、1位 懐中電灯(86%)、2位 飲料水(85%)、3位 非常用食料(81%)です。最下位の8位は簡易トイレ(44%)でした。親子連れが多く、アウトドア用のテントを災害時にも使えると思うという人が56%いました。皆さんご協力ありがとうございました!



シールを貼ってアンケートに答えてもらいました

〈地域福祉コーディネーター事業〉

ちょっと気になる 身近な困りごとは**地域福祉コーディネーター**へ市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に担当職員1名を配置しています。

生活の中での悩みや困りごと、地域の中で感じていることや気になっていることなど、自分だけではなくお知り合いのことでも結構です。地域の皆さまと協力して解決に向けたお手伝いをします。

お知らせ お話を聞くだけでもかまいません ひがしくるめ ひきこもり家族会

家族が学校にいかない、家にこもっている、仕事をしていない、関わり方がわからない・・・悩んでいるのはあなただけではありません。家族同士で悩みを分かちあい、つながり支えあう会です。ほっとできる場としてお気軽にご参加ください。

日時 **2月18日(日)、3月10日(日)、4月14日(日)**
(午後1時45分受付、入退室自由)

- 場所 市役所7階 701会議室(本町3-3-1)
- 対象 ひきこもりでお悩みの家族または本人
- 定員 20人(各開催日の4日前までに申し込み)
- 内容 参加者同士の交流 ■ 参加費 無料
- 申込み 申込フォームまたは電話で
①氏名(ふりがな) ②年代 ③電話番号 ④お住まいの市をお知らせください。

〈申込フォーム〉



※この会は、ご家族とサポーター(不登校支援者、障がい者福祉事業者等)で運営しています。

お気軽にご参加ください

こんなお話がありました

- ・どこに相談したら良いかわからなかった
- ・きょうだいの立場での心配ごと
- ・他の人がどうしているか、話を聞きたい
- ・家族の悩み、ひきこもり経験者の体験談

(話した内容や個人の秘密は守ります)

【連絡先】 地域福祉コーディネーター(社会福祉協議会ボランティアセンター)
☎ **042-475-0739** ☎ **042-476-4545**

報告 フードパントリー ひよこ

11月18日(土)の「第5回フードパントリーひよこin東久留米」は、当日運営ボランティア35人、食料受け取りに115世帯が参加しました。食料の受付や仕分けなど準備の協力、食材の寄付などでは更に多くの市民、社会福祉法人(福祉施設)が関わっています。沢山のご協力ありがとうございました。



次回5月開催に向けて、フードドライブだけでは不足する食品約100食分確保を目指して、寄付金によるご協力をお願いします。

〈振込先〉りそな銀行 東久留米支店
〈口座番号〉普通 4362165
〈名義〉ヒガシクフルメフードパントリーヒヨコ

報告 「ふくしのまちづくり実践中」西部地域・中部地域

西部地域 前触れなく突然訪れる災害 -あなたはどうしますか?- 滝山3・4丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート調査

- 対象 滝山3・4丁目にお住まいの方 903世帯
- 回答数 299件、回答率 33.1%
- 期間 令和5年12月1日(金)～12月20日(水)

安心して心ゆたかに暮らせる地域づくりに向けて、近所との付き合いや防災意識についてのアンケートを実施しました。回答率は約3割。集計結果から、住まいは戸建住宅と集合住宅がほぼ半数ずつ、約84%が10年以上居住している地域だと分かりました。また、市が指定している避難所の第九小学校まで比較的近いエリアですが、災害時は在宅避難を考えている世帯が多いことが分かりました。しかし、在宅避難では家庭ごとに過ごす時間が長くなるため「食料や水は手に入るのか」、「情報が届かずとり残されることはないのか」など心配があるとのことがありました。

アンケート報告会

- 【日時】 2月17日(土)午後2時～3時半
- 【会場】 西部地域センター 第一講習室
- 【内容】 アンケート結果の報告、在宅避難について
- 【対象】 滝山3・4丁目の住民
- 【申込み】 2月1日(木)～定員になり次第終了
電話またはファクスで①氏名②お住まいの地域③電話番号をお知らせください。

中部地域 「地域に居場所を作ろう!」～「桂林荘」での取り組み～

「コロナの影響で出かける機会が無くなった」、「趣味活動をしたいけど近くに集まる場所が無い」、「公共施設は遠いし混んでいて借りられない」、「自分たちのスタイルに合った使い方ができる場所があると良い」。これらは、多くの地域で寄せられる課題です。これに対し、社協では日々の必要な情報の収集や担い手の発掘に努めています。去る12月3日、地域の居場所づくりの取り組みを進める「桂林荘」が見学会を実施しました。桂林荘は、都立六仙公園近くの住宅街にある一般の家屋です。ここには、自由に活動ができる「コミュニティスペース」と「キッチンスペース」、屋外には中庭もあり、既にNPO法人や親子カフェなどのグループが利用しています。このスペースを提供し、同建物で歯科診療所を営んでいる町田先生は、「桂林荘はまだ完成されていない。これからは利用する方々と一緒になって作り上げていきたい」と地域住民とともに居場所の取り組みに期待を寄せます。今後の取り組みにご注目ください。



参加者の声

- ★「オープンキッチンでお菓子を焼いたり料理を提供してみたい」
- ★「集会や勉強会で活用したい」

社協は、地域の居場所づくりをバックアップします。地域で気になることやあったらいいなをお寄せください。

【問い合わせ】 西部地域担当 ☎ **042-475-0739** ☎ **042-476-4545**

【問い合わせ】 中部地域担当 ☎ **042-475-0739**